

追加型投信／内外／株式／インデックス型 設定日：2018年8月6日



eMAXIS Neo

宇宙開発／ロボット／遺伝子工学

*それぞれを宇宙開発、ロボット、遺伝子工学または各ファンドと呼ぶことがあります。

各ファンドが連動を目指す「Kensho社」の株式指数のご紹介

Kensho Space Index / Kensho Robotics Index / Kensho Genetic Engineering Index

(全て配当込み、円換算ベース)

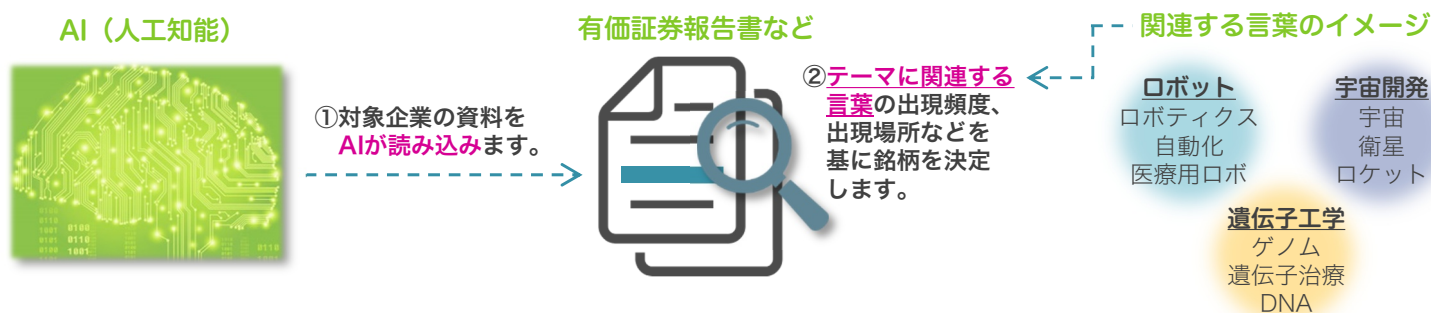
>> 指数の組入れ対象となる銘柄群は？



米国の金融商品取引所に上場している銘柄が組入れ対象となります。米国外の企業であっても、米国の金融商品取引所に上場していれば対象となるため、米国外の企業も組入れられる可能性があります。

>> 銘柄群から、どのようにテーマに該当する銘柄を選定しているの？

有価証券報告書など、企業の開示資料をAI（人工知能）が読み込み、テーマに関連する言葉の出現頻度、出現場所などを基に選定します（年1回）。また、時価総額・売買代金の基準による銘柄の絞込みも行われ、極端に時価総額の小さい銘柄や売買の活発でない銘柄は除外されます。



AI（人工知能）が銘柄を選定するメリットは？

一長一短ありますが、AIを活用することでテーマに該当する銘柄をより効率的に抽出できると考えられます。

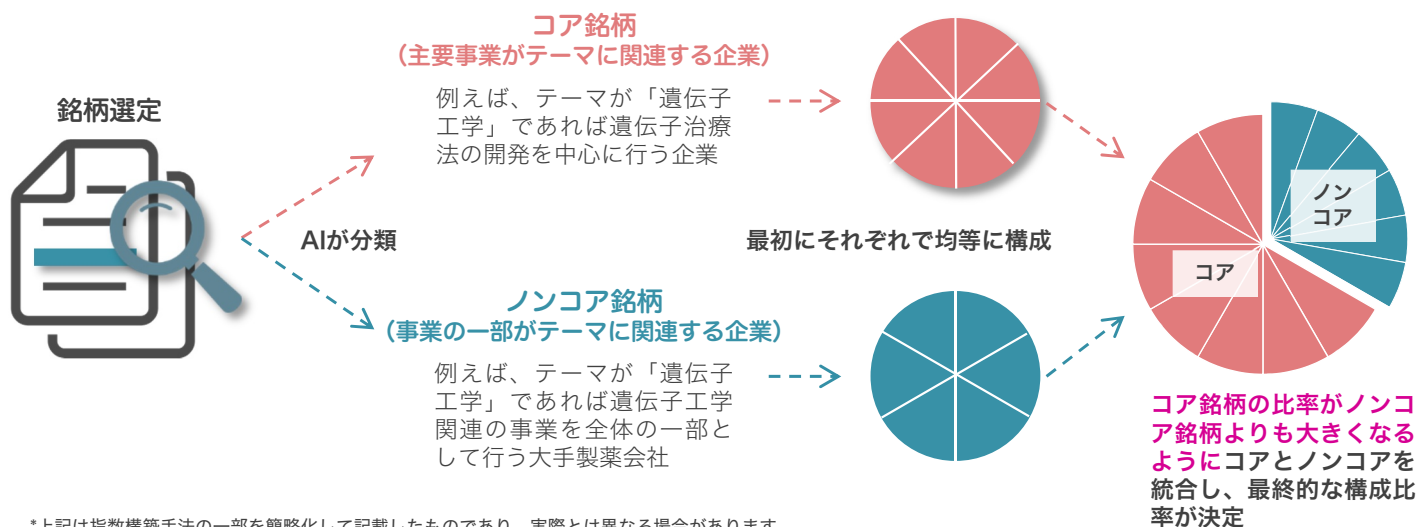
一般的なアクティブファンド (人間による銘柄選定)	情報源	Kensho社の指数 (AIによる銘柄選定)
○経営者の人柄なども考慮	調査企業数	×有価証券報告書などに限る
×限界あり	銘柄の見直し	○大量の銘柄を調査可能
○市況等に応じていつでも可能	調査費用	×年一回のみ
×人件費が掛かり、比較的高価		○比較的安価

*あくまで一般に想起される傾向をお示ししており、実際には上記と異なるケースも想定されます。

*上図は指数構築手法のうち、AIによる銘柄選定を簡略化して説明したものであり、時価総額や流動性による銘柄の絞込みなど、全てを網羅していません。

>> 銘柄の構成比率はどのように決定しているの？

銘柄選定の際、AIが、テーマに関連するビジネスが主要事業である「コア銘柄」と、そうでない「ノンコア銘柄」に分類しており、それぞれの分類において均等比率で構成されます。S&P500株価指数など、時価総額に応じた構成を行う時価総額加重型とは異なります。



*上記は指数構築手法の一部を簡略化して記載したものであり、実際とは異なる場合があります。

>> 指数を開発した「Kensho社」ってどんな会社？

KENSHO

Kensho (ケンショー) は、禅用語の「見性」に由来。

データ分析・機械学習・自然言語処理など、AIの技術を強みとする米国のテクノロジー企業です。2013年に創業され、AIやフィンテックの分野で多数の受賞歴があります。主要事業である市場分析サービスは、米ゴールドマン・サックスなど多くの金融機関が導入しています。現在は、S&P500指数などを有する米国の大手指数提供会社S&P Global Inc.の100%子会社です。

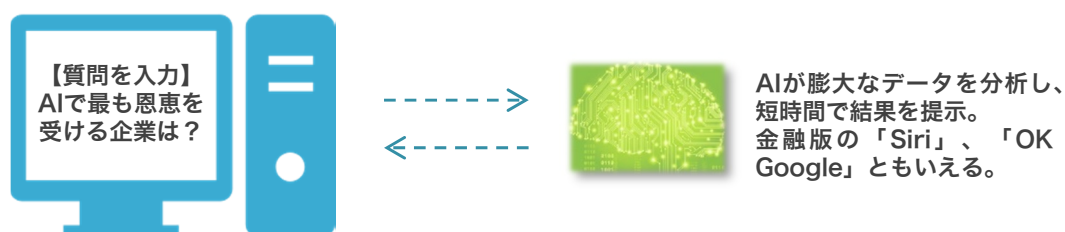
第4次産業革命の原動力となるテーマに沿う銘柄で構成される株式指数を開発しています。

第4次産業革命とは、モノのインターネット「IoT (Internet of Things)」や「人工知能 (AI)」等による技術革新によって、産業を大きく変革しようとする取り組み。

指数の一例		
1 宇宙	7 ドローン	13 スマートビルディング
2 ロボティクス	8 自動運転	14 スマートグリッド
3 サイバーセキュリティ	9 先進輸送システム	15 ナノテクノロジー
4 ウェアラブル	10 クリーンエネルギー	16 遺伝子工学
5 スマートボーダー(国境警備)	11 クリーンテクノロジー	
6 バーチャルリアリティ	12 3Dプリント	

1.宇宙、2.ロボティクス、16.遺伝子工学は、eMAXIS Neoの各ファンドが運動を目指す指数です。ここではわかりやすくするため日本語訳をお示ししています。

また、指数開発のほかに、AIによる対話型の市場分析サービスなどを提供しています。



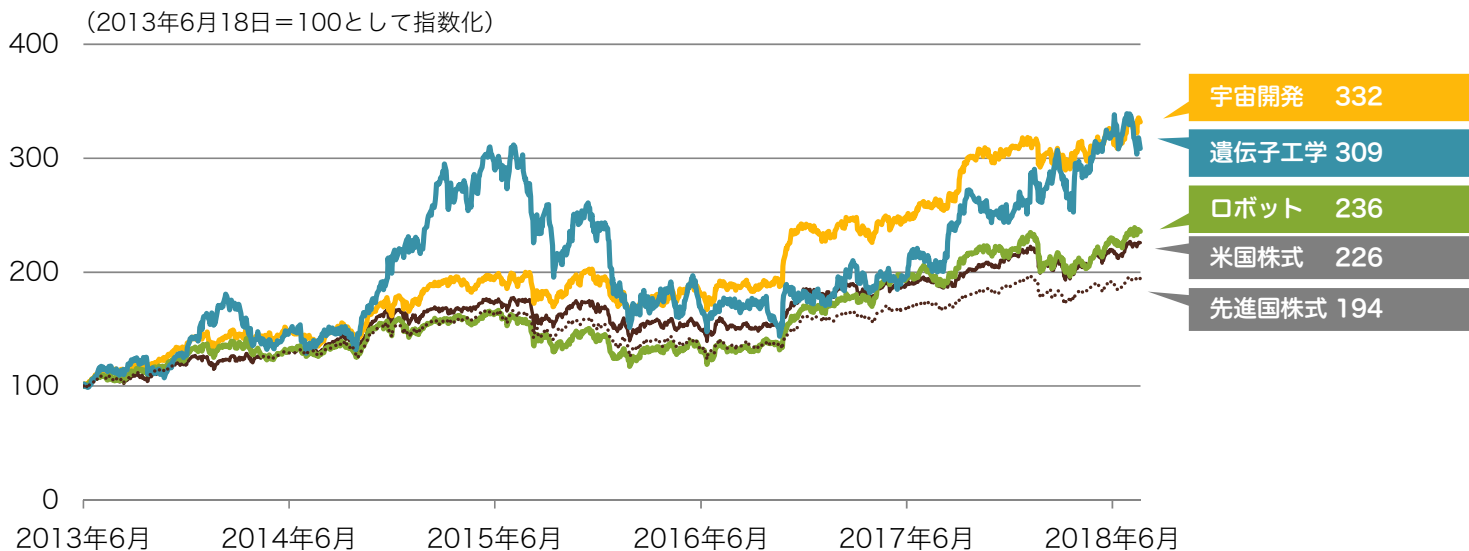
*上記はAIを活用した対話型の市場分析サービスをご理解いただくために示したイメージ図であり、実際とは異なる場合があります。

>> 指数の過去のパフォーマンスは？（宇宙開発、ロボット、遺伝子工学）

2013年6月来の各指数のパフォーマンスを見ると、

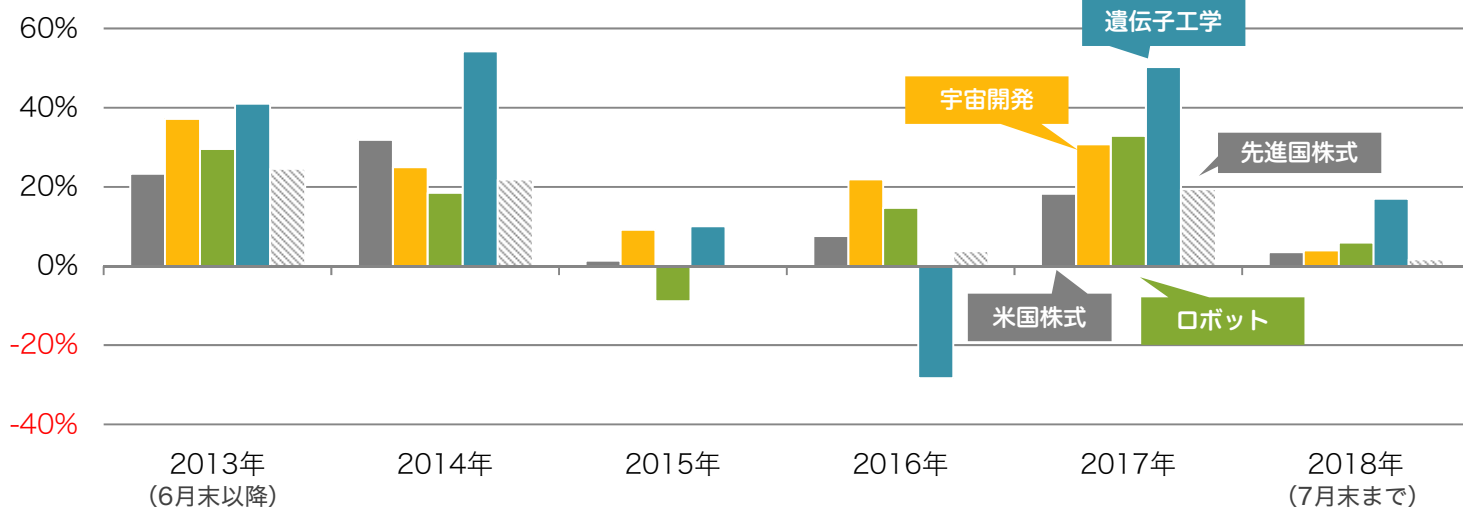
- ①宇宙開発は、米国株式、先進国株式を上回って堅調に推移しました。
- ②ロボットは2016年末ごろまで軟調でしたが、2017年以降では堅調に推移しています。
- ③遺伝子工学は米国株式、先進国株式を上回っていますが、急落した場面もありました。

パフォーマンスの推移（円換算ベース）



(出所) Bloombergを基に三菱UFJ国際投信作成
(期間) 2013年6月18日 (最も算出開始の遅いロボット、遺伝子工学の算出開始日) ~2018年8月6日 (日次)

年間騰落率の推移（円換算ベース）



	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
宇宙開発	37.2%	24.9%	9.1%	☆ 21.9%	30.7%	3.9%
ロボット	29.6%	18.5%	-8.9%	14.7%	32.9%	5.9%
遺伝子工学	☆ 41.0%	☆ 54.3%	☆ 10.1%	-28.3%	☆ 50.2%	☆ 17.0%
米国株式	23.3%	31.9%	1.3%	7.6%	18.2%	3.5%
先進国株式	24.6%	21.8%	-0.1%	3.7%	19.5%	1.7%

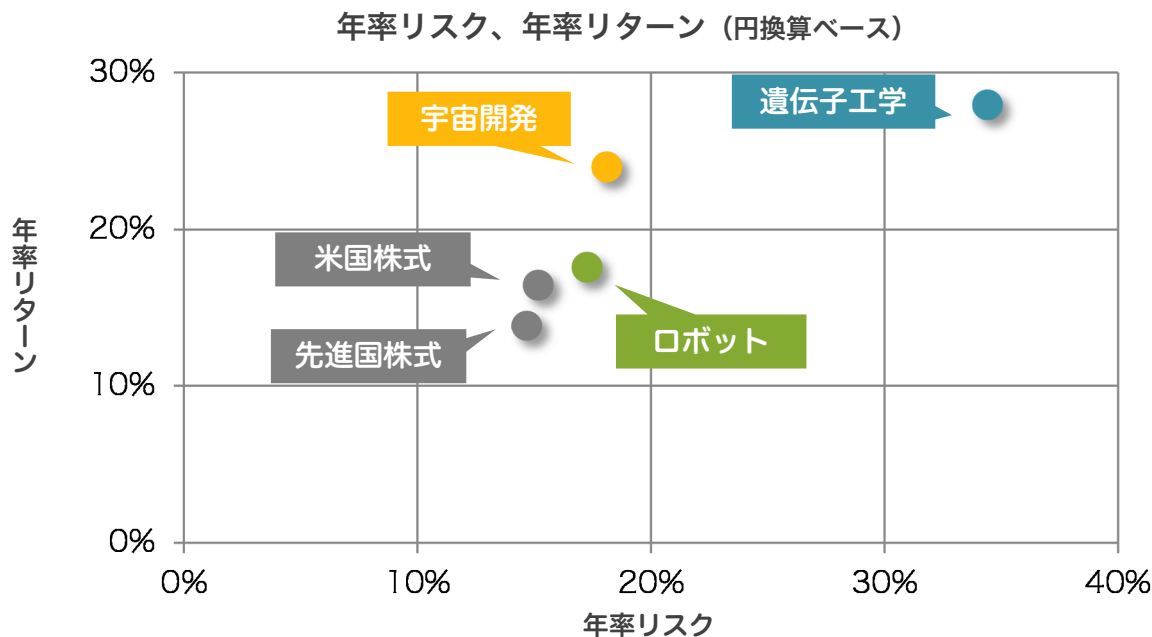
(出所) Bloombergを基に三菱UFJ国際投信作成
(期間) 2013年~2018年 (年次)、2013年は6月末以降、2018年は7月末まで 各年の騰落率が最も大きい指数に★マーク

■宇宙開発はKensho Space Index (配当込み、円換算ベース)、遺伝子工学はKensho Genetic Engineering Index (配当込み、円換算ベース)、ロボットはKensho Robotics Index (配当込み、円換算ベース)、米国株式はS&P500株価指数 (配当込み、円換算ベース)、先進国株式はMSCI ワールド インデックス (配当込み、円換算ベース) を使用
■米国株式市場の代表的な値動きとの比較を目的としてS&P500株価指数を、先進国株式全体の値動きとの比較を目的としてMSCI ワールド インデックスを使用

■上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。※最終面の「当資料で使用した指数について」、「当資料のご利用にあたっての注意事項等」を必ずご覧ください。

>> 指数の値動きの特徴は？（宇宙開発、ロボット、遺伝子工学）

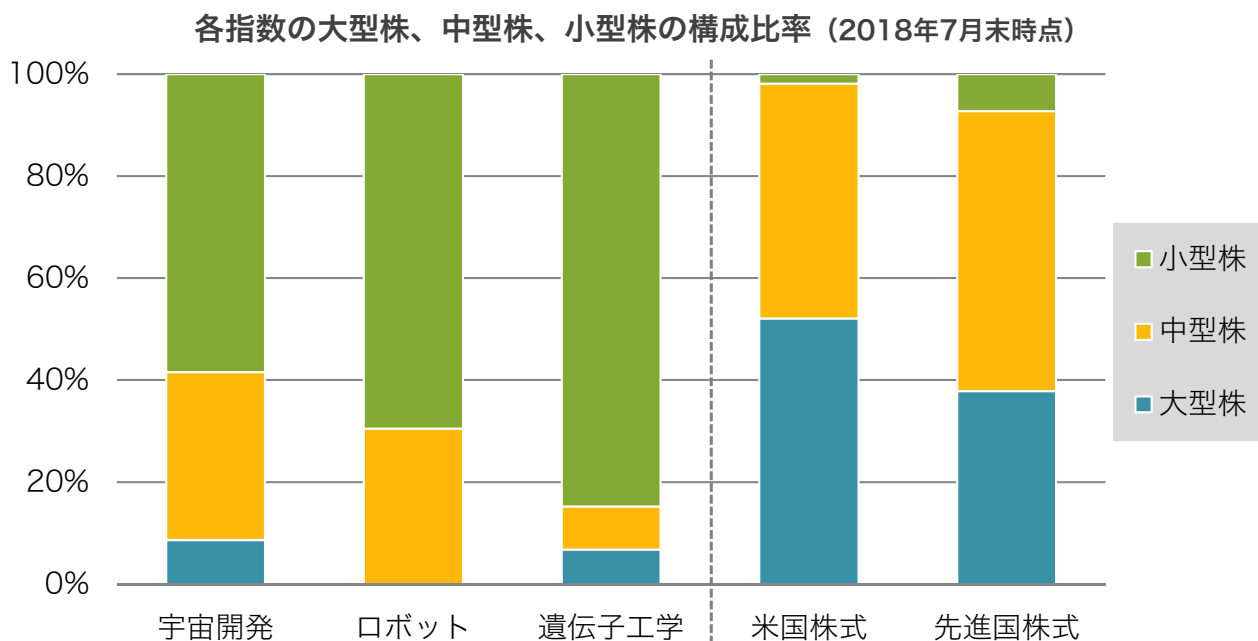
過去の値動きを見ると、相対的にハイリスク・ハイリターンな傾向がありました。



（出所）Bloombergを基に三菱UFJ国際投信作成（期間）2013年6月末～2018年7月末（月次）
 ■リスクとは、リターン（収益）のブレ（変動）の大きさのことです。リスクは月次騰落率の標準偏差を年率換算したものです。
 ■リターンは月次騰落率の平均を年率換算したものです。

>> 大型株、中小型株の割合は？（宇宙開発、ロボット、遺伝子工学）

米国株式や先進国株式と比べ、時価総額の小さい銘柄の比率が高くなっています。したがって、一般的に値動きが荒いとされる中小型株の値動きの影響が相対的に大きくなると考えられます。



時価総額が1,000億米ドル以上を「大型株」、100億米ドル以上1,000億米ドル未満を「中型株」、100億米ドル未満を「小型株」と定義しています。
 （出所）Bloombergを基に三菱UFJ国際投信作成

■宇宙開発はKensho Space Index（配当込み、円換算ベース）、遺伝子工学はKensho Genetic Engineering Index（配当込み、円換算ベース）、ロボットはKensho Robotics Index（配当込み、円換算ベース）、米国株式はS&P500株価指数（配当込み、円換算ベース）、先進国株式はMSCI ワールド インデックス（配当込み、円換算ベース）を使用
 ■米国株式市場の代表的な値動きとの比較を目的としてS&P500株価指数を、先進国株式全体の値動きとの比較を目的としてMSCI ワールド インデックスを使用

■上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。※最終面の「当資料で使用した指数について」、「当資料のご利用にあたっての注意事項等」を必ずご覧ください。

ファンドの目的・特色

【ファンドの目的】

宇宙開発：Kensho Space Index（配当込み、円換算ベース）の値動きに連動する投資成果をめざします。

ロボット：Kensho Robotics Index（配当込み、円換算ベース）の値動きに連動する投資成果をめざします。

遺伝子工学：Kensho Genetic Engineering Index（配当込み、円換算ベース）の値動きに連動する投資成果をめざします。

【ファンドの特色】

宇宙開発：

①Kensho Space Index（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。

②主として、米国の金融商品取引所に上場している、日本を含む世界各国の宇宙開発関連企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資します。

*宇宙開発関連企業とは、対象インデックスを提供するKensho Technologies,LLC（以下、Kensho社）が考える、宇宙開発に関連する製品やサービスを提供する企業をいいます。

*Kensho社は、データ分析・機械学習・自然言語処理などを強みとする米国のテクノロジー企業であり、米国大手指数提供会社のS&P Global Inc.の100%子会社です。

ロボット：

①Kensho Robotics Index（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。

②主として、米国の金融商品取引所に上場している、日本を含む世界各国のロボット関連企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資します。

*ロボット関連企業とは、対象インデックスを提供するKensho社が考える、ロボットに関連する製品やサービスを提供する企業をいいます。

遺伝子工学：

①Kensho Genetic Engineering Index（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。

②主として、米国の金融商品取引所に上場している、日本を含む世界各国の遺伝子工学関連企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資します。

*遺伝子工学関連企業とは、対象インデックスを提供するKensho社が考える、遺伝子工学に関連する製品やサービスを提供する企業をいいます。

③原則として、為替ヘッジは行いません。為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

分配方針：

●年1回の決算時（8月17日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。

●分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。
(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

●価格変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

●為替変動リスク

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

●信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

●流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

●特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク

ファンドは、特定のテーマに沿った銘柄に投資するため、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い銘柄に分散投資する場合と比べてファンドの基準価額が大きく変動する場合があります。

ファンドは、中小型株にも投資を行うため、大型株中心に投資する場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。詳しくは交付目論見書をご覧ください。

■その他の留意点

・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

・ファンドは、各ベンチマークの動きに連動することをめざして運用を行います。信託報酬、売買委託手数料等を負担すること、現物株式投資の代替で投資した株価指数先物取引等と当該指数の動きが連動しないこと、売買約定価格と当該指数の評価価格の差が生じること、指数構成銘柄と組入銘柄の違いおよびそれらの構成比の違いが生じること、当該指数を構成する銘柄が変更になること、為替の評価による影響等の要因により乖離を生じることがあります。

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	ありません。
換金時	信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して、 年率0.7776%(税抜 年率0.72%)以内 をかけた額
	その他の費用 ・手数料	次の費用・手数料についても各ファンドが負担します。・監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

販売会社情報一覧 (今後、下記の販売会社については変更となる場合があります)

2018年8月8日時点

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

<当資料で使用した指数について>

■Kensho Space Indexとは、Kensho社が提供する宇宙開発関連企業の株式で構成された指数です。AIを活用し、企業の開示情報などの膨大な文献を自動的に処理する手法を通じて、米国の金融商品取引所に上場している、日本を含む世界各国の企業の銘柄を選定しています。

Kensho Space Index (配当込み、円換算ベース)は、Kensho Space Index (配当込み、米ドルベース)をもとに委託会社が計算したものです。

■Kensho Robotics Indexとは、Kensho社が提供するロボット関連企業の株式で構成された指数です。AIを活用し、企業の開示情報などの膨大な文献を自動的に処理する手法を通じて、米国の金融商品取引所に上場している、日本を含む世界各国の企業の銘柄を選定しています。

Kensho Robotics Index (配当込み、円換算ベース)は、Kensho Robotics Index (配当込み、米ドルベース)をもとに委託会社が計算したものです。

■Kensho Genetic Engineering Indexとは、Kensho社が提供する遺伝子工学関連企業の株式で構成された指数です。AIを活用し、企業の開示情報などの膨大な文献を自動的に処理する手法を通じて、米国の金融商品取引所に上場している、日本を含む世界各国の企業の銘柄を選定しています。

Kensho Genetic Engineering Index (配当込み、円換算ベース)は、Kensho Genetic Engineering Index (配当込み、米ドルベース)をもとに委託会社が計算したものです。

©2017-2018 Kensho Technologies,LLC (Kensho) は、本商品の指数スポンサーであり、委託会社に対して、本商品に関してKenshoが有する本指数の利用を許諾しています。ここで参照される名称および商標は、全てそれぞれが有する資産となります。

本商品は、Kenshoがスポンサー行為、保証、販売または販売促進を行うものではありません。本指数は、本商品を考慮することなく決定、構成および計算されるものであり、Kenshoは、本指数の決定、構成または計算にあたり、本商品の所有者の要望を考慮する義務を負いません。Kenshoは、本商品の所有者またはいかなる一般人に対しても、特に本商品への投資の当否に関して、明示的にも暗示的にも、何ら表明または保証を行いません。Kenshoは、証券の価値に関して、または証券、スワップ取引、証券関連スワップ契約もしくはその他のコモディティの売買にかかる契約等商品への投資の当否に関して、投資助言を提供するものではなく、また分析もしくは報告を公表・頒布するものではありません。本指数は、投資助言にあたるものではなく、またそのようにみせたり、または解釈されるべきではありません。

Kenshoは、その可能性について知らされていたかにかかわらず、いかなる場合においても、本指数、本指数値またはその構成銘柄情報を使用する者(本商品の投資家を含みますが、これに制限されることはありません。)に対し、本指数の設計、編集、計算、メンテナンスもしくはスポンサー行為または本商品に関連して生じるかかる損失、損害、費用、料金、支出その他のあらゆる債務について、それが特別的、懲罰的、間接的または派生的な損失、損害、費用、料金、支出その他のあらゆる責任(事業機会の逸失、逸失利益、時間の損失およびのれんの損失を含みます。)であるかを問わず、一切の責任を負いません。

本商品は、本指数の計算代理人であるSolactive AG (Solactive) がスポンサー行為、販売促進、販売またはその他の方法によるサポートを行うものではなく、またSolactiveは、いかなる時点においても、またはいかなる点においても、本指数および本指数の商標もしくはそのいずれか、または本指数値の利用によりある時点でもまたは何らかの点において生じる結果について、明示的にもまたは暗示的にも、何ら保証するものではありません。本指数は、Solactiveが計算および公表を行います。Solactiveは、本指数が正確に計算されることが確保されるよう、最善の努力を尽くします。Solactiveは、Kenshoに対する自らの義務とは関係なく、第三者(本商品の投資家および金融仲介業者またはそのいずれかを含みますが、これらに限定されません。)に対し、本指数における誤りを指摘する義務を負いません。Solactiveが本指数の公表、または本商品に関連して使用することを目的として本指数もしくは本指数の商標のライセンスを付与したことは、いずれにおいても、Solactiveが本商品への投資を推奨するものではなく、また本商品への投資に関して、何らSolactiveが保証または意見を表明するものではありません。

■S&P500株価指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している株価指数で、米国の代表的な株価指数の1つです。市場規模、流動性、業種等を勘案して選ばれたニューヨーク証券取引所等に上場および登録されている500銘柄を時価総額で加重平均し指数化したものです。

■MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

<当資料のご利用にあたっての注意事項等>

○当資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

○当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

○当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

○投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

○投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。